

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者に対する声かけについては敬語を使い、丁寧に優しく対応できるよう取り組んできたが、つい友人と話してしまうような言葉遣いが未だに聞かれる。	優しく、丁寧な言葉遣いと態度で利用者とする。	各職員の利用者に対する言葉遣い・態度を自分も含め職員全員で点数をつけ平均し数値化する。2ヶ月ごとに評価を繰り返し点数が上がるよう各職員取り組む。	1ヶ月
2	38	過去には自宅での習慣ややりたいことをグループホームでも継続して行う取り組みをしていたが、コロナ禍を挟んで行えていない。	利用者がやりたいことを実現する。	各利用にさらに深くアセスメントし利用者のやりたいことを聞き出し実現に向けての手段や方法を担当職員を中心にカンファレンスする。実現の難しい希望も最初から諦めず実現方法を見出す努力をする。	3ヶ月
3	34	災害や事故、緊急時の対応について訓練や知識が乏しい。	災害時、感染症発生時、利用者の事故等に迅速でその場に応じた的確な対応ができる。	2ヶ月ごとの避難訓練に加え、BCPの研修と訓練を全てのグループホーム職員に定期的実施する。予備バッテリーや災害時の非常食など実際に使用しざという時に混乱しないよう備える。	2ヶ月
4	1	グループホームの理念は毎日出勤時に黙読しスタッフルームにも掲示し職員には共有できているが、ご家族や地域住民に知っていただけない。	グループホーム理念をご家族や地域の方々に知っていただき、より地域に密着したグループホームとなる。	2ヶ月ごとにご家族様に送付している手紙にグループホームの理念を記し知っていただく。また、年度最初の運営推進会議で理念の説明や今年度の主な取り組みの説明を行う。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。